

## HNTシリコンルーフ(標準14色) 色見本



## HNTルーフサビ止めプライマー(3色)色見本



※この見本は印刷によるもので現物と異なります。

## 施工上の注意事項

### 塗装環境

1. 被塗物の表面温度が5℃以下、湿度80%以上の場合は、施工を避けて下さい。
2. 塗装後翌日までに降雨、降雪等の心配がある場合は、施工を避けて下さい。
3. 冬の施工は夜露、結露の発生が考えられますので、午後3時以降の作業は避けて下さい。
4. 夜露、高湿度等で被塗物が結露している場合は、ウエス等で拭き取り、十分に乾燥させてから塗装して下さい。

### 下地

5. 旧塗膜の密着不良部、表面の油、ゴミ、ホコリ、コケ等は、高圧水洗(10~15MPa)にて取り除いて下さい。
6. 高圧水洗で落としきれない、旧塗膜の密着不良部および錆発生部分は、電動工具、手動工具を用いて劣化した塗膜を除去し、発錆部は、2種ケレンを行って下さい。
7. 水洗後や降雨、降雪後は十分に下地を乾燥させて下さい。(窯業系屋根面:夏期2日以上、冬期3日以上)
8. 油脂などの付着物は、溶剤で拭き取り、清浄な面にして下さい。
9. 素地調整は、耐久性を高める重要な工程となりますので、入念に処理して下さい。
10. 旧塗膜が全面に残っている場合の改修は、事前に塗膜の種類・状態を確認し、密着性の確認を行って下さい。
11. 旧塗膜の種類や劣化状態によっては、溶剤の影響により旧塗膜のチアレや再溶解を生じることがあります。事前に試験塗りを行って下さい。
12. いぶし及び旧塗膜が2液反応型シリコン系又はフッ素系の場合は、塗装しないで下さい。
13. 旧塗膜が2層以上ある瓦は、塗膜欠陥の原因となりますので、旧塗膜を完全に除去して下さい。

### 養生

14. エアレス塗装等、吹付け塗装の場合は、塗料の飛散に充分注意して下さい。  
付近の建物、自動車等はあらかじめ養生して下さい。  
軒先等は圧力を低下させ、あて板などで養生し、塗装して下さい。
15. 塗料のミストが自動車、ガラス、アルミサッシ等に付着した場合は、すぐにウエス等で拭き取って下さい。特に自動車に付着した場合は、ただちに水洗いして下さい。
16. 乾燥した塗料のミストは、ラッカーシンナー等で傷つけないように拭き取って下さい。

### 塗装

17. 鋼板屋根の折り曲げ部や継ぎ目、凸部等は塗膜が薄くなりやすいため、事前に拾い塗りを行って下さい。
18. 積雪の荷重を受けやすい軒先部やはぜ、瓦棒の凸部等は、耐久性を向上させるために増し塗りを行って下さい。
19. 下塗材の標準使用量および塗り回数、瓦の形状、素地の劣化具合により増減する場合があります。
20. 「塗料」は、ご使用前に電動攪拌機等で十分に攪拌してから塗装して下さい。
21. 棟包、ボルト等の金属部材には、HNTルーフサビ止めプライマーをご使用下さい。
22. 釉薬瓦の場合は、エクセルプライマーあるいはスーパーエクセルプライマーをご使用下さい。
23. 標準使用量、塗装間隔及び規定塗り回数を厳守し、一度に厚塗りしないで下さい。  
標準使用量、塗装間隔及び規定塗り回数で仕上げる方が、塗り上がり、耐久性とも向上します。
24. 吸込みの激しい場合プライマーを2回以上濡れ色感が出るまで塗布して下さい。  
プライマーは、乾燥後、養生テープ等で浸透性を確認し、浸透不足等による表層剥離を生じた場合は、再度プライマーを塗装して下さい。
25. 水切り部で上下の瓦に隙間がないと、敷板の腐敗や雨漏りの原因になります。下塗後にタスペーサーを使用し隙間を確保するか、塗装後、塗料で隙間が接着している箇所は、スクレーパー等で縁切りして下さい。

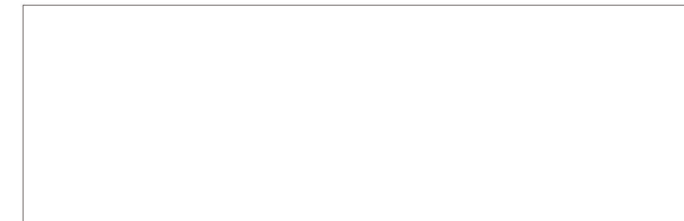
### 保管

26. 「塗料」を保管する場合には必ず直射日光の当たらない、湿気の少ない屋内に保管して下さい。保管や施工時の換気、火気には充分注意して下さい。

※ 取り扱い上の注意については、容器に表示された注意事項をご参照下さい。

引火性あり	警告	有害性あり
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 可燃性の液体である。</li> <li>2. 健康に有害な物質を含有している。</li> <li>3. 皮膚に付着するとかぶれを起こす恐れがある。</li> <li>4. 蒸気を吸入すると人により喘息様症状を起こすことがある。</li> </ol>	
業務用	<p>《注意事項》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ、また、重い健康障害を起こす恐れがありますから、取扱いについては、容器に表示された注意事項を守って下さい。</li> <li>2. アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取扱いを避けて下さい。(呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。)</li> </ol> <p>※ 詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。</p>	

● お問い合わせは……



## 東日本塗料株式会社

本社 | 〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306  
 埼玉工場 | 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518  
 仙台営業所 | 〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320  
 新潟営業所 | 〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730  
 静岡営業所 | 〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063  
 北海道出張所 TEL.03(3693)0851 FAX.03(3697)2306

※製品改良のため、予告なく仕様、性能、カタログ内容を変更する場合があります。  
 ※諸官公庁等の特記仕様がある場合には、それを最優先して下さい。

URL <http://www.hnt-net.co.jp> CATALOG NO.4 '20.07.3000



## 二液弱溶剤型シリコン変性樹脂屋根用塗料

# HNTシリコンルーフ

5つの特長を兼ね備え、カラーも豊富なHNTシリコンルーフが登場しました。



東日本塗料

# HNTシリコンルーフ

## 特長

### 1.高耐候性(耐候形1種相当)

2液弱溶剤系反応硬化型のシリコン樹脂を採用しており、耐候性に優れています。

### 2.高性能

緻密な塗膜が形成されるため、耐汚染性に優れています。

また強靱な塗膜が長期にわたり下地を保護します。

### 3.塗料用シンナーAで希釈可能

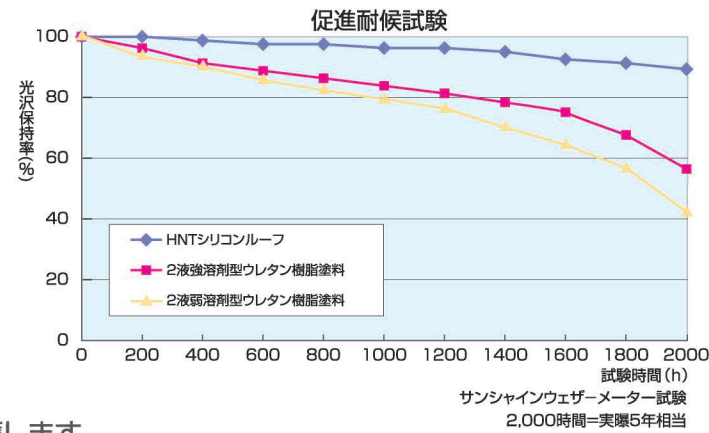
HNTルーフシンナーまたは塗料用シンナーAで希釈が可能です。においが少なく、下地をおかす心配がないため、幅広い屋根に対応します。

### 4.防藻・防カビ性

藻・カビに対する抵抗性に優れ、長期間効果を持続します。

### 5.さまざまな屋根材に対応

専用プライマーを使用することにより、トタン等の鋼板屋根やコロニアル、モニエル瓦、セメント瓦等、さまざまな屋根材に対応できます。



## 可使時間・塗装間隔

気温	5~15℃	15~25℃	25~35℃
可使時間	10時間	7時間	4時間
塗装間隔	8時間~3日	5時間~3日	3時間~3日

## 塗装仕様

### 鋼板屋根

工程	製品名	標準使用量 kg/m <sup>2</sup> ・回	上塗可能時間 (23℃)	塗り回数	希釈剤	塗装方法 希釈率(%)
素地調整	1.旧塗膜の密着不良部、表面の油、ゴミ、ホコリ、コケ等は、高圧水洗(10~15MPa)にて取り除いて下さい。 2.高圧水洗で落としきれない、旧塗膜の密着不良部および錆発生部分は、電動工具、手動工具を用いて劣化した塗膜を除去し、発錆部は、2種ケレンを行って下さい。 3.水洗後や降雨、降雪後は充分に下地を乾燥させて下さい。 4.油脂分などの付着物は、溶剤で拭き取り、清浄な面にして下さい。 5.素地調整は、耐久性を高める重要な工程となりますので、入念に処理して下さい。 6.旧塗膜(水性、一液溶剤型、二液反応型アクリルウレタン系・アクリルシリコン系等)が残っている場合は、事前に塗膜の種類・状態を確認し、密着性の確認を行って下さい。(2液反応型フッ素系の場合は、塗装しないで下さい。) 7.旧塗膜が2層以上ある場合は、塗膜欠陥の原因となりますので、旧塗膜を完全に除去して下さい。					
下塗	HNTルーフサビ止めプライマー	0.12~0.16	16時間~7日	1~2	HNTルーフシンナー	中毛ローラー・ハケ 0~5% エアレス 0~5%
上塗	HNTシリコンルーフ	0.12~0.15	5時間~3日	2	HNTルーフシンナー	中毛ローラー・ハケ 0~10% エアレス 10~20%

※ エッジ部や凸部等の透けやすい部分は、下塗りを2回行って下さい。

### コロニアル・モニエル瓦・スレート・セメント瓦

工程	製品名	標準使用量 kg/m <sup>2</sup> ・回	上塗可能時間 (23℃)	塗り回数	希釈剤	塗装方法 希釈率(%)
素地調整	1.脆弱層、密着不良塗膜及びゴミ、ホコリ、風化物、苔等は、電動ブラシ、ワイヤーブラシ等で取り除き、高圧水洗(10~15MPa)で洗浄して下さい。高圧水洗ができない場合は、水を流しながらワイヤーブラシ等を使用して入念に洗浄して下さい。 2.水洗後や降雨、降雪後は充分に下地を乾燥させて下さい。(夏期2日以上、冬期3日以上) 3.いぶし瓦及び旧塗膜が2液反応型フッ素系の場合は、塗装しないで下さい。 4.旧塗膜(水性、一液溶剤系、二液反応型アクリルウレタン系・アクリルシリコン系等)が残っている場合は、事前に塗膜の種類・状態を確認し、密着性の確認を行って下さい。 5.旧塗膜が2層以上ある瓦は、塗膜欠陥の原因となりますので、旧塗膜を完全に除去して下さい。					
下塗	HNTルーフプライマー	0.15~0.2	2時間~3日	1~2	---	中毛ローラー・ハケ エアレス
上塗	HNTシリコンルーフ	0.12~0.15	5時間~3日	2	HNTルーフシンナー	中毛ローラー・ハケ 0~10% エアレス 10~20%

※ 吸込みの激しい場合プライマーを2回以上濡れ色感が出るまで塗布して下さい。  
 ※ フックボルト、棟包等の金属部材には、HNTルーフサビ止めプライマーをご使用下さい。  
 ※ コロニアルの水切り部で上下の瓦に隙間がないと、敷板の腐敗や雨漏りの原因になります。  
 下塗後にタスペーサーを使用し隙間を確保するか、塗装後、塗料で隙間が接着している箇所は、スクレーパー等で縁切りをして下さい。

## 用途

鋼板屋根面・・・トタン、折板 等

窯業系屋根面・・・コロニアル、モニエル瓦、スレート、セメント瓦 等

## 製品体系

製品名	容量	希釈割合		標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> ・回)
		ローラー・ハケ	エアレス	
上塗材 HNTシリコンルーフ (二液弱溶剤型シリコン変性樹脂塗料)	14kg セット 主剤:12kg/硬化剤:2kg	HNTルーフシンナー 0~10%	HNTルーフシンナー 10~20%	0.12~0.15 ×2回塗り
下塗材 ~鋼板屋根面用~ HNTルーフサビ止めプライマー (ターベン可溶エポキシ樹脂錆止めプライマー)	16kg 石油缶	HNTルーフシンナー 0~5%	HNTルーフシンナー 0~5%	0.12~0.16 ×1~2回塗り
下塗材 ~窯業系屋根面用~ HNTルーフプライマー (ターベン可溶一液温気硬化型プライマー)	14kg 石油缶	---	---	0.15~0.2 ×1~2回塗り
希釈剤 HNTルーフシンナー	16ℓ 石油缶	---	---	---

※ 標準使用量および塗り回数は、屋根材の形状、素地の劣化割合により増減する場合があります。